

# 第二地連新聞



## 退職手当削減反対第二地連総決起集会

# 老若きも一丸で闘う



## 地連内各支部から70名が参加

発行責任 第二地連議長  
 編集責任 第二地連教宣部  
 東京清掃組合連  
 労働組連  
 第二地連  
 2013年1月25日  
 第33号

退職手当削減反対！  
第二地連総決起集会

退職手当削減、制度変更改悪に反対する要請

2013年1月22日（火）  
文京CCシルバーボール

### 当面の予定

- ◎ 第二地連第9団結旗開き  
1月26日（土）  
上野
- ◎ 特区連・東京清掃総決起集会  
2月12日（火）  
中野サンプラザ
- ◎ 第二地連年次総会  
3月9日（土）  
台東清掃事務所清川清掃車庫

文京シビックセンターで1月22日（火）、「退職手当削減反対！ 第二地連総決起集会」が開催された。第二地連4区5支部約70名の仲間が結集・参加し、17時35分～18時35分、決起集会および要請行動を行った。

来賓として、特区連第2ブロック議長・益子茂文京区職労委員長がご参加くださり、退職手当削減・制度変更改悪反対をともに闘う決意を述べていただいた。東京清掃本部から大和田副委員長および桐田書記次長が駆けつけてくださり、大和田副委員長より情勢報告として、退職手当削減と制度変更改悪に関する要点が述べられた。そして、単に退職を迎えている世代の組合員だけでなく、若い世代の組合員も今後10年先20年先を見据えて、組合員みんなに共通する課題として、老いも若きも一丸となって闘わなければならないと、力強い決意が示された。

その後、幹事区である文京区の瀧副区長を相手に、区長要請行動が行われた。緒方第二地連副議長が要請文を読み上げ、金子議長が要請文を文京副区長に手渡した。

最後に、「団結ガンバロー」で第二地連総決起集会が締められた。



瀧文京副区長に要請文を手渡す金子第二地連議長



集会参加者に挨拶する金子議長

来賓挨拶する益子茂特区連第2ブロック議長



情勢報告を行う東京清掃本部大和田副委員長

要請文を読み上げる緒方第二地連副議長



## 退職手当の削減・改悪に反対する決議

特別区区長会は、1月17日の第5回団体交渉にて、「退職手当の見直しに関する基本的考え方」を示した。趣旨は、「国における官民格差解消のための退職手当支給額の引き下げ、また、他団体の見直しの状況等を踏まえ、特別区でも民間との格差を是正するとともに、在職期間中の職務・職責に応じた貢献度をより一層反映できるよう、所要の見直しを行う」という考え方である。

清掃事業はチームワークを基本とする集団作業で日々の業務に邁進している。職務による職責の違いがあるにせよ、区制に対する貢献はすべての職員がそれぞれの職務ごとに責任を持ち貢献している。上位の職務でないと貢献度が低いとするような区長会の主張は断じて認められない。そのことを無視し、「職務・職責に応じた貢献度」という言い方で退職手当調整額のポイント引き上げ、拡充するという考え方は、退職手当への職責差による反映度合を高め、支給額格差の拡大に繋がるものであり、断じて認められるものではない。

そもそも、国と特別区では、退職手当制でや組織実態・人事制度等に大きな違いがあり、国の見直しや他団体の動向等を理由とするだけの退職手当見直しは説得性に欠けるものであり、とても認められるものではない。さらには、最高支給額到達前の支給率が高い、いわゆる「中ぶくれ」を指摘しているが、清掃職員の採用時年齢は、東京都時代から30歳以降も採用資格要件となっており、勤続30年未満で退職を迎える職員が数多く存在し、勤続20年から30年を中心に国を上回る支給月数が設定されている。国公の現業系職員の定年年齢は、その給与水準が低いこと等から、63歳の特例定年となっており、採用時の年齢や定年年齢の違いも考慮せず、「中ぶくれ」という言い方で是正を求めることは、とても納得できない。国公とは、その基盤となる任用実態も支給月数も、基本支給額も異なることを踏まえれば、単純に国や他団体との比較や均衡論に基づく削減や制度の見直しは説得性に欠けるものであり、我々は到底納得できない。

また、わが組合は、12確定期に業務職給料表の切替に伴う昇給調整措置の見直しとして、調整号数の廃止を求めてきた。要求に対し一定の改善が図られたものの、その内容は限られた一部の職責のみ適用される昇給調整措置の見直しであり、とても納得できるものではない。実質的な昇給が何年もできないの今の状況は、毎年処分を受け、昇給延伸措置を受けているに等しいものである。退職時の賃金は、退職手当額に直接係わり、一刻も早く調整号数の廃止を強く求める。特別区区長会は、毎年、我々の技能・業務系人事制度の改善要求にはいっさい答えようとせず、一方的に退職手当の見直しだけを主張する姿勢には強い怒りすら覚える。

退職手当は、退職後の生活保障に深く関わる労働条件の根幹とも言えるものである。職員は、現行制度での退職手当を前提として、住宅ローンの返済や老後の生活設計をしており、生活保障の観点からも、退職手当の引き下げには断固反対する。

東京清掃第二地連は、全組合員、全支部が本部・地連に結集・団結し、退職手当削減・改悪反対、切替調整号数の廃止を求め、組織の総力をあげ断固闘い抜くものである。

以上、決議する。

2013年1月22日

東京清掃労働組合第二地区支部連合会総決起集会